

トマス・ヴェンツロヴァ 自選詩集

トマス・ヴェンツロヴァ (著) 櫻井映子 (訳)

四六変型・並製・328頁・定価：本体3900円＋税



トマス・ヴェンツロヴァ
櫻井映子 訳

トマス・ヴェンツロヴァ
自選詩集

東京外国語大学出版会 Tomas Venclova Pseizijos rinktinė

廊下の鍵をかけるとき、心臓の鼓動が乱れ、胸が重くなった。確かに、その国において死は偶然ですらあり得たのだ。

—トマス・ヴェンツロヴァ「われらが人生の旅の半ばに」より

ソ連体制による精神の支配に対峙したヴェンツロヴァは、一九七七年、この詩の直後、祖国リトアニアを離れ、亡命する。

反体制活動、亡命、祖国独立、そして帰還—
激動の生涯をつらぬく代表作73篇を、リトアニア語原典から初邦訳

境界線が分断の色合いを強め、重なり合う音律が途切れそうになる今の時代に、ヴェンツロヴァの詩はさらにその存在意義を増しているといえよう。亡命前にソ連で過ごした日々を振り返って、彼は次のように述べている—「詩の一行がどれほど輝くかを知った／それが真夜中の木々や雪をあかるく照らすことを」(「シレメーチエヴォ空港、一九七七」)。まさにそれと同じことを、私たちは彼自身の作品を通じて知るのである。[本書序文「越境の詩学」より]

【著者】トマス・ヴェンツロヴァ Tomas Venclova

1937年リトアニア生まれ。ソ連時代に反体制活動により国外に追放され、1977年に米国へ亡命。その後は主にイエール大学で教鞭を執る。渡米後もリトアニア語で詩作を続け、バルト諸国および東欧を代表する詩人として国際的な評価を確立し、翻訳家・評論家・文学研究者としても活躍。

【訳者】櫻井映子 Eiko Sakurai

名古屋大学大学院文学研究科修了(文学博士)。現在、東京外国語大学・大阪大学リトアニア語講師。専門はリトアニア語学・リトアニア文学、バルト・スラヴ語学。リトアニア国家勲章を受章。

ご注文申込書	貴店名・帖合	注文数	発行：東京外国語大学出版会 TEL.042-330-5559
			トマス・ヴェンツロヴァ【著】 櫻井映子【訳】 トマス・ヴェンツロヴァ 自選詩集
			四六変型判・並製・328頁・定価：本体3900円＋税
		冊	ISBN978-4-910635-23-1 C0098 ¥3900E

ご注文はJRCへ →FAX. 03-3294-2177 ※返品条件付き注文扱い